

## ○授業での子どもの様子（6年生 総合的な学習の時間）

これまでの学習の中で人との繋がりを考える。

- ・ 農家の方、飲食店、JA、おじいちゃん・おばあちゃんに来ていただき、勉強を教えてくれた。
- ・ こんなに自分たちの学習の中で繋がっているんだ。
- ・ 価格設定はA品、B品、C品で違う。決め方は2つの方法。



これまでの繋がりを今後の学習でどう活かすか？

- ・ 今までお世話になった人たちに、これまでの自分たちの活動をビデオレターでまとめ、それを見てもらいたい。
- ・ 福島県内に発信して、自分たちの学習を見てもらいたい。
- ・ いろいろな人によって自分たちは学んでいることを知った。だからこそ、いろいろな人に広めたい。



～成果と課題～（○成果 ●課題 ☆設定したSDGsの目標達成）

- 全員が被害者となった新型コロナウイルスを教材化して扱ったこと。生活していく中で、子どもたちは消費者の立場が多いが、加えて生産者・販売者の三者を経験できる授業だということ。
- 総合的な学習の時間の中の学びに向かう力では、自分自身、社会、他者との繋がりの中で、ぶれない軸があることが大切である。
- 今回の授業はグループでよかったのか？個人の方がよかったのか？最後は個に返し、自分自身に戻り思考することが大切である。
- ☆ SDGs目標8・17をターゲットとした。自らが栽培し、販売することで経済の貢献となった。また、様々な人の想いに触れ、皆が地域に対して同じ方向性で進んでいることが分かった。

実践した先生の学び

- ・ 児童一人一人によって、発信したい相手異なる。私自身は外へ外へと広げようとしていたが、児童の意見はお世話になった方へ範囲の内側へ戻す意識が高かった。数多くの方々へこの取り組みが届くようにしていきたいと改めて感じる事ができた。
- ・ 「繋ぐ」をキーワードに、グループ内での対話での繋ぎも入れて授業を行ったが、個の習得の弱さが見えた。如何にして一人一人に考えさせるか、気づかされた授業だった。

参観された先生方の学び

- ・ 学校内の児童や教員でも、6年生がここまでことを学習しているとは、気づいていなかった。校内にもぜひ発信してほしい。それが、憧れにもなる。
- ・ グループによってそれぞれの役割があり、各グループでのカラーが見られた。そのカラーを大切にしたい。
- ・ 学ぶの積み重ねの大切さに再度気づかされた。ポートフォリオ等の集積物を作成して活かせるようにしていきたい。